

審査結果の要旨

報告番号	乙 第 号	氏名	
			打和 大幹
審査担当者	主 査	足 達 寿	(印)
	副主査	森 岡 基 浩	(印)
	副主査	檜 水 五	(印)
<p>主論文題目：Losartan/hydrochlorothiazide combination is safe and effective for morning hypertension in very elderly patients</p> <p>(後期高齢者においてロサルタン/ヒドロクロロチアジド併用療法は早朝高血圧に対する安全かつ有効な治療法である)</p>			

審査結果の要旨 (意見)

本論文は、MAPPY 研究のサブ解析であり、ロサルタン/ヒドロクロロチアジド配合錠が、高用量ロサルタン療法よりも、75 歳以上の後期高齢者において、安全かつ有効性が高いことを示しており、後期高齢者では、ARB 単剤を増量するより、早朝時、目標血圧に達しない場合は、利尿剤をアドオンすることが有効な選択肢になることを示している。後期高齢者の利尿剤投与は、脱水、腎機能悪化、電解質異常などの有害事象を懸念して控える傾向にあるが、配合剤で服薬回数が増えないというメリットもあり、アドヒアランスの面からも、安全性が担保されれば、望ましい治療法となり得る。その意味からも、本研究が治療効果のみならず有害事象の懸念を払拭した点に大きな意義があり、今後の高血圧治療の幅を広げた興味深い研究である。

論文要旨

脳・心血管疾患は起床後数時間以内に発症することが多く、早朝高血圧は脳・心血管疾患の重大なリスクである。早朝高血圧は高齢者での罹患頻度が高く、治療の必要性が高いと考えられるが高齢者における早朝高血圧の治療法は確立されていない。以前我々は MAPPY (Morning Hypertension and Angiotensin Receptor Blocker/Hydrochlorothiazide Combination Therapy Study) 研究において、早朝高血圧患者にロサルタン 50mg / ヒドロクロロチアジド 12.5mg 配合剤 1 錠 (ロサルタン/ヒドロクロロチアジド併用療法) またはロサルタン 100mg (高用量ロサルタン療法) を朝 1 回投与して、経医療療法の早朝高血圧に対する降圧効果作用が有意に大きいことを報告した。今回、MAPPY 研究登録症例のうち追跡不能例及び同意撤回例を除く 201 名を用いて、75 歳以上後期高齢者での薬剤投与 3 ヶ月後のロサルタン/ヒドロクロロチアジド併用療法と高用量ロサルタン療法の安全性及び有効性の比較検討を行った。結果、ロサルタン/ヒドロクロロチアジド併用療法は 75 歳以上後期高齢者においても 75 歳未満の症例と同様に重篤な有害事象を発生させず安全に使用することができた。さらにロサルタン/ヒドロクロロチアジド併用療法は高用量ロサルタン治療よりも早朝高血圧コントロールに優る可能性が示唆された。